

全国商店街

～優良取り組み事例～

平成29年度 商店街まちづくり事業

商店街まちづくり事業事務局

女性や子育て世代の声を反映した『多目的多機能トイレ施設の設置』



協同組合 元町エスエス会

➤ 基本データ

所在地：神奈川県横浜市中区元町1丁目14番地
TEL：045-641-1557
FAX：045-664-9473
URL：http://www.motomachi.or.jp/
組合員数：232店舗(設立年度：昭和25年)

➤ 商店街の特徴

協同組合元町エスエス会は、国内外から年間514万人もの来街者がある広域型商店街であり、横浜開港から歴史と文化を積み重ね、独自の「元町ブランド」を確立してきた。

来街者の70～80%が女性で占められている。

<取り組みの背景>

元町にふさわしい多目的多機能トイレの設置が長年の悲願であった。平成21年から、授乳・おむつ替え専用車両「ポペッツタウン号」を土日祝の歩行者天国で提供してきたが利用日が限定されていた。また、周辺地域にある公衆トイレの数が少なく、さらに衛生・防犯上の観点から、女性や子育て世代のお客様から清潔で安心して利用できるトイレの設置を望む声が多く寄せられていた。

<取り組みの内容>

平成27年5月に多目的多機能トイレ施設を設置し「元町オアシス」と命名した。多機能トイレのほか、授乳室・おむつ替え室・パウダールームを併設、女性・子育て世代・高齢者や障がい者が衛生的に安心して利用できるようになった。また、施設中央部にはキッズサークルを設けて家族連れの待ち合わせ場所にしたほか、同所に設置した大型モニターで商店街活動の紹介を行っている。



さらに「元町オアシス」を来街者に周知するため、それを明示した歩行者天国用の車止めを作成した。半期に一度の大規模セール（チャームセール）や毎週末の歩行者天国で使用しPRしている。また、ホームページで周知しているほか、商店街マップ（年2回更新・各4万部印刷）に写真入りで掲載し配布している。利用者の評判も良く、新聞や地元ラジオ局にも取り上げられ商店街のPRに一役買っている。

一方で「元町オアシス」の利用における安心の確保のため、清掃等の費用が継続的に発生し、商店街の経常費用が増加する。そこで、会員店に新たな支援を募り、費用の一部をカバーしている。

<取り組みの成果>

周知等の取り組みにより「元町オアシス」の認知度は着実に上昇しており、利用者は平日で約40人、休日で約100人にのぼる。誰でも安心して買い物ができる商店街、子育て世代や高齢者・障がい者を支援する商店街として認知され、元町エスエス会のイメージアップに寄与し、集客力向上と商店街の活性化につながっている。さらに、行政・他地域の商店街・海外団体等が視察で来街する際にも「元町オアシス」を案内しており、元町のシンボルとして定着しつつある。

「元町オアシス」開設式の様子

元町ショッピングストリートにこのほど、授乳やおむつ替えもできる多目的パウダールーム「元町オアシス」が完成し、5月30日に開設式が行われた。開設式には三上章彦中区長ら多数の来賓が出席。あいさつに立った協同組合元町エスエス会の永井淳二理事長は「名称のように街を訪れる方々の憩いの場になれば」と話した。

(タウンニュース中区西区版
平成27年6月4日号より)



開設式でテープカットする永井理事長(写真上)と右から2番目ら。元町オアシス室内の様子(下)



利用者の声

いつも乳児を連れているので、元町で買い物をする際には、授乳やおむつ替えに「元町オアシス」を利用しています。明るくてとても清潔感のある施設なのでゆったりと落ち着いて授乳できます。

(30代女性)

<上記以外の取り組み>

「元町オアシス」の設置以外にも、これまで歩道、ベンチ等ストリートファニーチャー、石畳の車道等を整備し、安心・安全で快適な商店街づくりを進めており、今後の取り組みについては同会の街づくり室にて検討されている。

➤ 高まるインバウンド需要にむけて

商店街マップとホームページで英語版・中国語版を追加し、マップについては「元町オアシス」にも配架している。また、元町通り600mで利用できる13言語対応の無料Wi-Fiを整備し海外からの来街者の利便性を高めている。

➤ 魅力的なイベントの開催

年間を通してさまざまなイベントを開催しているが、特にクリスマスシーズン5日間に実施した「ロンドンバス乗車イベント」(元町と桜木町の間を走行し、乗車無料)が好評であった。イルミネーションで華やぐ商店街を走るバスに多くの方がカメラを向け、この写真がSNSに投稿されたことにより、商店街の知名度と集客力がさらに向上した。



元町エスエス会からコメント

当会ではいつもお客様に安心してお買い物いただける街づくりを心がけています。また、楽しいイベントを実施したり、毎年2月下旬と9月下旬にはチャームセールを開催して、お客様をお迎えしてます。(事務局長 加藤様)



地域貢献と老人向け安否確認を実現した『ポイントカードシステムの設置』



新大宮商店街振興組合

▶ 基本データ

所在地：京都市北区紫竹西高縄町81-3

TEL/FAX：075-491-8914

URL：<http://shin-oomiya.jp>

組合員数：112店舗

設立年度：昭和38年

▶ 商店街の特徴

新大宮商店街は、昭和38年に設立された歴史のある商店街。北山通りから北大路通りまで約1kmの地域の発展と安心・安全を願う商店街です。近年は、生活スタイルや住民ニーズが変わる中、独自の施策を打ち出し、空き店舗の解消を行っている。

<取り組みの背景>

大型スーパーが商店街区を取り囲むように立地するようになり、近隣の住人の核家族化・高齢化が進む中、商店街への来街者が減少し、空き店舗が増加していた。また、以前に使用していたポイントカード事業が老朽化し、販売促進の効果も減少していたことから、商店街の活性化と地域の安全・安心を高めるために、魅力のある新ポイントカード事業を推進することを考えた。

<取り組みの内容>

平成25年10月に、「新大宮 POINT CARDふえるか」を導入。

本ポイントカードは、通常のポイントカードの役割に加え、買い物をした金額に応じて「地域応援ポイント」が貯まり、その8割を商店街から地域の自治会や小学校PTAに現金を寄付するという全国初の仕組みになっており、周辺住民の商店街利用に大きく貢献している。

また、いつも買い物をしている高齢の顧客が来店しない場合はお訊ねの電話をかけるという「お訊ねシステム」とも連動しており、買い物客の安心・安全を高める工夫を行っている。



(京都新聞 平成27年3月)

<取り組みの成果>

ポイントカード加入者は現在約9,000名。貯められたポイントは商店街内の様々な商品と交換ができ、抽選会などで商店街の賑わいを演出している。地域ポイントによる地域団体への寄附は、スタートから3年間で累計で約511万円に達しており、地区の発展に貢献している。お訊ねシステムは任意で設定した来街頻度に応じて電話発信を実施しており、登録者からの評価も高い。現在、新大宮商店街はどなたでも安心して買い物ができる商店街、高齢者を支援する商店街として認知され、商店街のイメージアップに寄与し、集客力向上と商店街の活性化につながっている。

<上記以外の取り組み>

➤ 魅力的なイベントの開催

- ・毎年7月最終土曜日の「北区新大宮夏まつり」は区と連携して行っており、サンパ隊のパレードと地域の方々の模擬店、大学生の協力のもと地域の祭りとして定着しており、平成29年も約5万人の来場があった。
- ・敬老の抽選会を実施。
- ・ハロウィンでは10月最終土曜日に仮装パレード・コンテスト・お菓子ラリーを実施。



➤ 空き店舗対策

大型スーパーや店主の高齢化などの影響により、新大宮商店街でも空き店舗が増加していたが、昨年より新規店舗の入居が増加しつつあり、2年間で15件もの空き店舗を解消した。

これは、前述した様々なイベントの効果と、家賃が商店街の周辺よりも劇的に安いことが大きな理由である。商店街にゆかりのある不動産店の協力と店舗所有者の理解により、周辺の相場よりも安い家賃を実現した。

今後もこの取り組みが進めば空き店舗解消も実現可能であり、高齢化などにより退店した店舗の新陳代謝が進む見込み。



(日本経済新聞 夕刊
平成28年12月17日)

新大宮商店街振興組合からコメント

当商店街は地域密着型の商店街として、年間を通じ販売促進事業や楽しいイベントを実施しています。

そして商店街を舞台に、古くから有るお店と若い人達のお店が協力し合って、地域においての人と人との繋がりをさらに広げて行く事を常に心がけています。(理事長 中村様)

